

第6回 日本の工業(3) 基本問題

- 1 日本の工業は、かつて繊維工業などの(軽)工業が中心でした。
- 2 1955年代からの(高度経済成長)のときから、(重化学)工業特に機械工業の生産額が最も多くなっています。
- 3 重化学工業は、燃料や(原料)の輸入、製品の(輸出)に便利な太平洋ベルトの(臨海部)で発達しました。
- 4 1973年の石油危機以後、機械工業などの工場は(内陸部)に進出しました。電子部品の工場は、(高速道路)や空港の近くに多く見られます。
- 5 1980年代半ばから、生産にかかる費用を抑えるため海外に移転する工場が増えました。このため、国内の産業がおとろえる(産業の空洞化)が発生しました。
- 6 働く人が(300)人に満たない工場を(中小)工場といい、工場数では全体の99%をしめています。
- 7 6の工場は、働く人の数では全体の約(70)%ですが、(生産額)では半分不足となっています。
- 8 6の工場は、重化学工業よりせんい・食料品・よう業などの(軽)工業に多くなっています。
- 9 6の工場は、自動車工業では大工場の(関連工場)として、部品を生産しています。
- 10 三重県の(四日市)市の石油化学コンビナートから出されたばい煙がもとで(四日市ぜんそく)が occurred しました。
- 11 熊本県の(水俣)市の化学工場から出された有機水銀が原因で(水俣)病が発生しました。
- 12 新潟県の(阿賀野)川流域でも、有機水銀が原因で(第二水俣)病が発生しました。
- 13 富山県の(神通)川流域では、神岡鉱山から出されたカドミウムが原因で(イタイイタイ)病が発生しました。
- 14 1993年、国は公害対策基本法にかわる法律として(環境基本)法を制定しました。
- 15 公害を防ぎ、環境を守るための役所は、(環境省)です。
- 16 明治時代におこった(足尾銅山鉱毒事件)は、日本の公害反対運動の原点といわれ、(田中正造)が運動を進めました。
- 17 昔から行われてきた伝統工業を、法律にもとづいて約(200)品目を(伝統的工芸品)に指定しています。指定するのは(経済産業省)です。
- 18 岩手県盛岡市などでは(南部鉄器)とよばれる鉄びんなど鉄製品で有名です。
- 19 石川県金沢市などでは(九谷焼)という焼き物と加賀友禅とが有名です。
- 20 石川県輪島市では(輪島塗)とよばれる漆器で有名です。
- 21 高知県の町などでは(土佐和紙)とよばれる工芸品で有名です。
- 22 佐賀県有田町・唐津市・伊万里市などで有名な工芸品は(陶磁器)です。
- 23 福岡県福岡市などでは(博多織)・(博多人形)とよばれる工芸品で有名です。
- 24 京都府京都市などでは(西陣織)・(清水焼)・京友禅が有名です。
- 25 ほかに、山形県天童市の(将棋の駒)、宮城県大崎市鳴子温泉の(宮城伝統こけし)、青森県弘前市の(津軽塗)などがあります。